

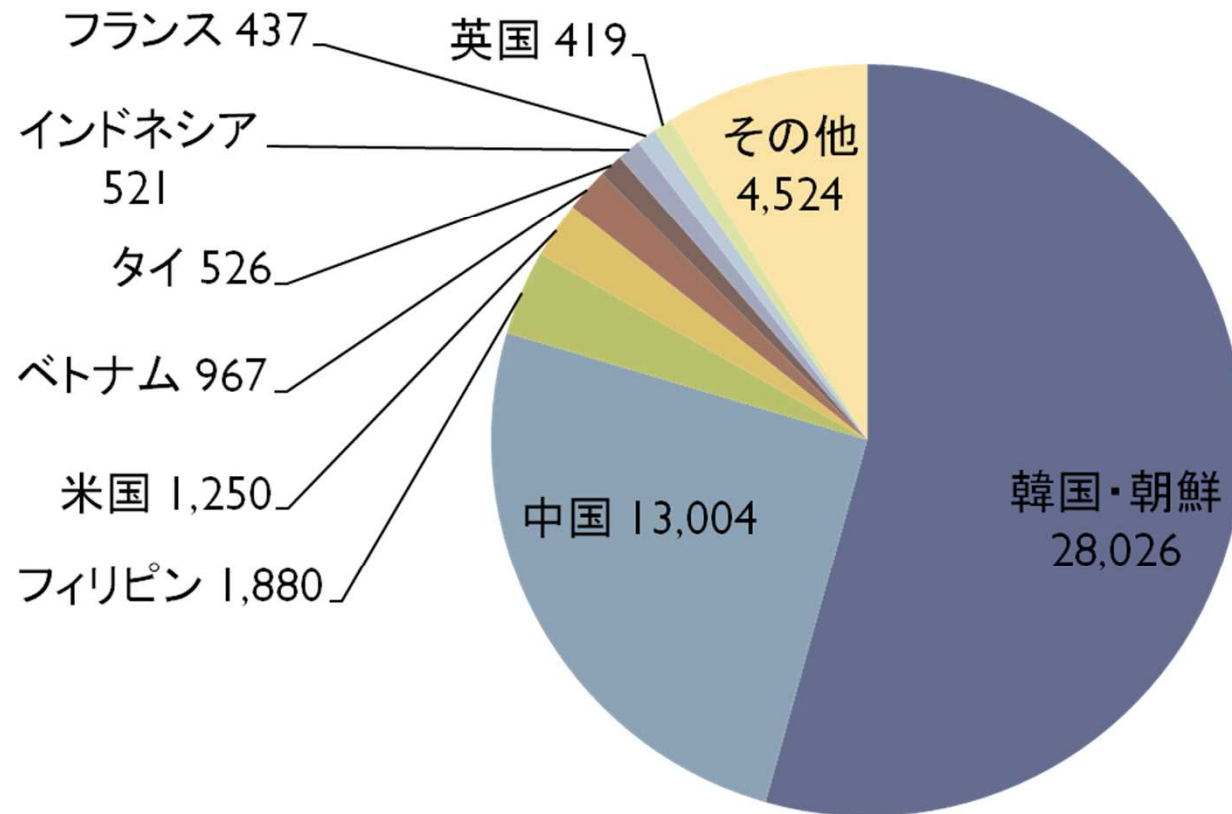


京都府における日本語教育体制の 整備について

公益財団法人 京都府国際センター 近藤徳明
TEL: 075-342-5000 Email: kondo@kpic.or.jp

京都府の国際化の現状

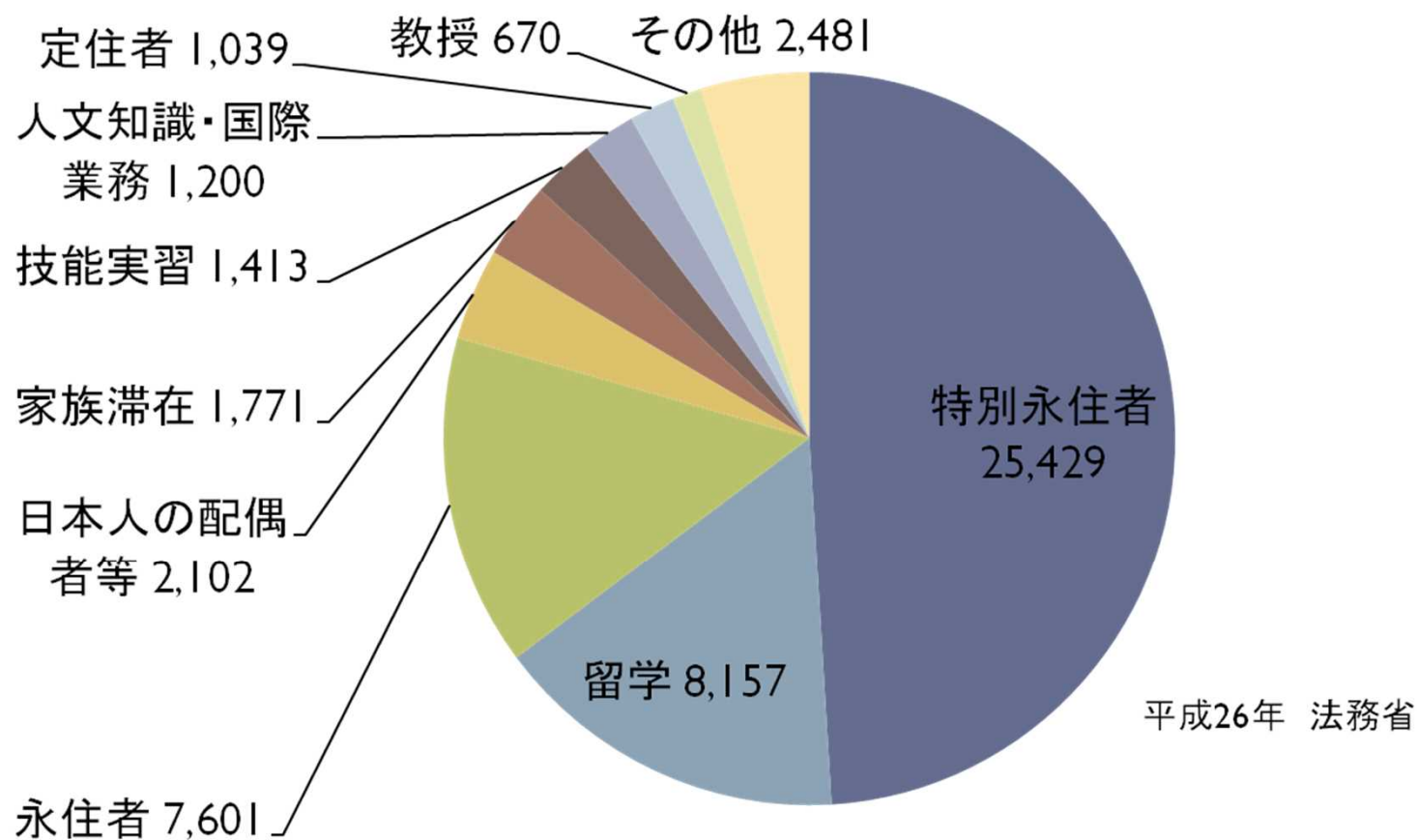
京都府国籍別外国人住民数(51,554人)



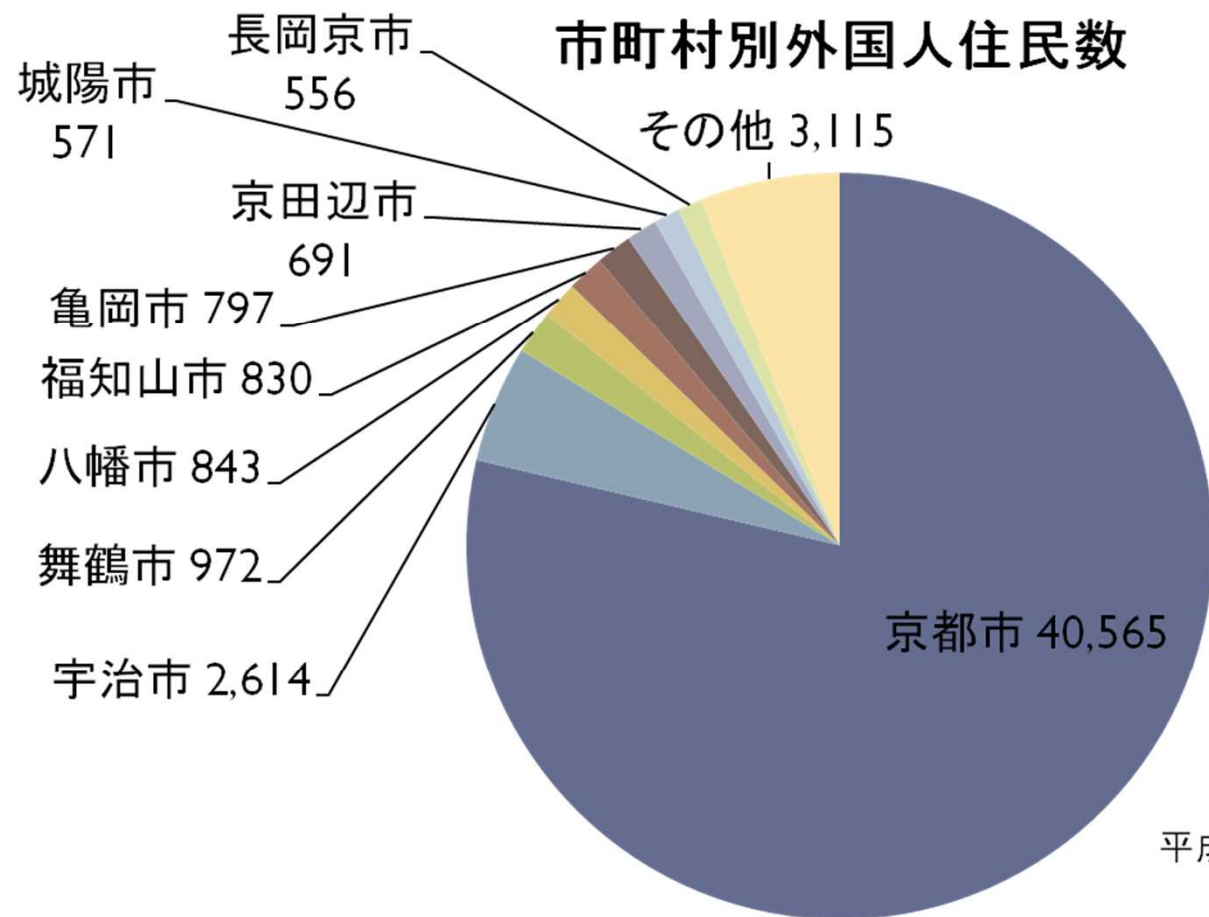
平成26年 京都府国際課

京都府の国際化の現状

在留資格別在留外国人数

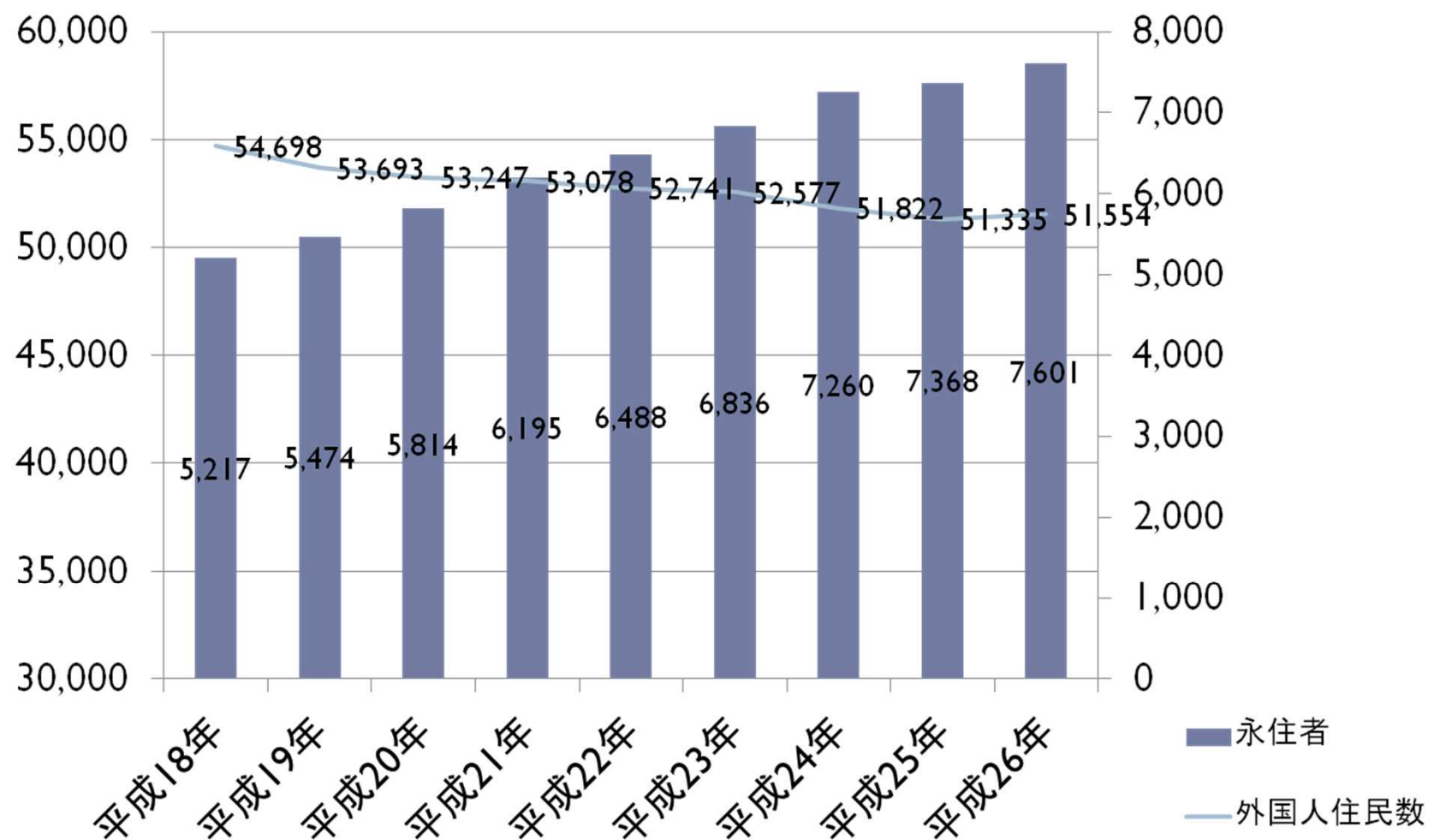


京都府の国際化の現状



平成26年 京都府国際課

京都府の国際化の現状



京都府の国際化の現状

京都府内の市町村国際化協会と 地域日本語教室

京都府内では、17の市町村国際化協会（国際交流協会）が活動しています。

また、各地で外国人住民のための日本語支援活動が行われており、13の市町に約20の地域日本語教室があります。



京都府の国際化の現状

日本語教育についての地域の現状

- ▶ 外国人住民が広域に散在していることから、各市町村の施策としては優先順位が高くない。
- ▶ 府内市町村国際化協会や地域日本語教室の多くは人員も財政も非常に限られている。特に地域日本語教室は行政の支援も得られずにボランティアの善意と熱意で成り立っているところがほとんど。



事業体系

▶ 多文化共生

日本語学習支援

外国人児童等の教育支援

災害時支援

多文化共生推進体制の整備

留学生等支援・交流促進事業

▶ 国際交流・理解

国際理解促進事業、CIRの派遣

▶ 国際協力

JICA京都デスク、活動報告会



日本語学習支援における課題

- ▶ 日本語を学ぶ場所がない → 日本語教室の立ち上げ
- ▶ 日本語を指導する人材の不足 → 人材の養成
- ▶ 日本語指導について学ぶ機会がない → 研修機会の提供
- ▶ 教室同士のつながりがない → 教室のネットワーク化

課題解決のための地域のリソース

- ▶ 市町村国際化協会
- ▶ 日本語支援ボランティア
- ▶ 大学・日本語学校
- ▶ 地域日本語教室ネットワーク組織

京都にほんごRings
京都府内18のボランティア日本語教室から構成されるネットワーク団体。当センターとの相互連携により日本語支援ボランティア・団体をサポート

取組内容 人材の養成・研修

- ▶ 日本語支援ボランティア研修会
- ▶ ボランティアのレベルアップを通して日本語学習支援の充実・活性化につなげる
- ▶ 京丹後市、福知山市、綾部市で合同研修会を実施（平成21年～24年）



- ▶ 日本語学校の協力を得て広域研修として実施
参加地域（平成25、26年度）
北部：京丹後市、綾部市、福知山市、京丹波町、南丹市、亀岡市
南部：京都市、宇治市、長岡京市、久御山町、八幡市、城陽市、
宇治田原町、京田辺市、精華町、木津川市



取組内容 人材の養成・研修

- ▶ 日本語支援ボランティア養成講座
- ▶ 日本語学習支援を担う人材を養成することで
地域日本語教室の立ち上げを支援する
- ▶ 京丹後市(平成21年度)、城陽市(平成23年度)、
▶ 南丹市(平成25年度)、亀岡市(平成26年度)で実施
- ▶ 京都にほんごRings、大学、日本語学校などの協力を得て実施
- ▶ ※講座修了後のボランティアの受け皿を確保した上で実施
- ▶ ※事前にオリエンテーションを実施



取組内容 人材の養成・研修

- ▶ 日本語初期指導担当者養成講座
- ▶ 日本語教育に関わる人材に限られる
府北中部において、各地域日本語教室の
大きな課題となっている初期指導を担える
人材を養成



- ▶ 参加団体： 京丹後市国際交流協会、福知山日本語交流会、綾部国際交流協会、京丹波町国際交流協会、南丹市国際交流協会、亀岡国際交流協会
- ▶ 時間数： 100時間(5時間×20回)
- ▶ 協力： 公益財団法人京都日本語教育センター(京都日本語学校)



取組内容 モデル日本語教室

- ▶ 外国人住民のためのにほんご教室
- ▶ 年2回(5~7月、10~12月)
基礎クラス(20回)、会話クラス(10回)
- ▶ 学習教材の公開と府内教室からの
授業見学受け入れ
→モデル日本語教室としての位置付けが
明確に

外国人住民のための
にほんご教室
きょう しつ

※基礎(きそ)クラス 2013年5月9日(木)・7月18日(木) 場所:京都府国際センター(京都駅ビル9階)
※会話(かいわ)クラス 2013年5月11日(土)・7月13日(土)

2013
春夏

Japanese Classes for International Residents 英語

面向外国籍府民的 日语教室 中国語

외국인주민을위한 일본어 교실 韓国・朝鮮語

Nihongo Classes Para sa mga Dayuhang Residente フィリピン語

Clases de japonés para los residentes extranjeros ス페인語

ポルトガル語版はHPへ [português → www.kpic.or.jp/portuguese/residents/index.html](http://www.kpic.or.jp/portuguese/residents/index.html)



4	5	6	7
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩

○ きそクラス / Regular Course ★ レベルチェック / Placement Interview
○ かいわクラス / Conversation Course ★ レベルチェック / Placement Interview

問い合わせ: (公財)京都府国際センター (KPIC)
Contact: Kyoto Prefectural International Center
TEL: 075-342-5000 Email: main@kpic.or.jp

WEB <http://www.kpic.or.jp/>

地下鉄 Subway →

シャイアール
京都伊勢丹
J1 Kyoto Isetan Dept.

京都駅 Kyoto Station

エレベーター
エレベーターで9階へ
To 9F By Elevator

ハチジョービル
Hotel Granvia Kyoto

西出口
1 Entrance

ハチジョービル
Hachijo Nishi-guchi

取組内容 モデル日本語教室

- ▶ 学習教材の作成
- ▶ 「生活者としての外国人」カリキュラム案を活用して作成
- ▶ **基礎クラスⅠ**
自己紹介する、注文する、家族を紹介する、
目的地をたずねる、希望・要求を伝える、
ゴミの出し方をたずねる、警察・消防に連絡する
- ▶ **基礎クラスⅡ**
初対面の挨拶をする、診察を受ける、人を誘う、携帯電話の契約をする、
面接を受ける、災害情報を聞いて適切な行動をする



※テキストに対応した指導書および翻訳版(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)を作成



取組内容 ネットワークの形成

- ▶ 京都府北中部地域日本語教室ネットワーク会議

- ▶ 第1回準備会(平成24年12月)、
第2回準備会(平成25年3月)

- ▶ 第1回ネットワーク会議(平成25年8月)
参加団体:市町村国際化協会および
日本語教室(11団体)



- ▶ ボランティア日本語教室ネットワーク「京都にほんごRings」との協働

※南部地域については「京都にほんごRings」定例会議を年4回実施



取組内容 ネットワークの形成

- ▶ 日本語教室運営研修会
- ▶ 各教室の指導・運営方法などの活動紹介と他教室との意見交換を行うことで、現状や課題の共有とボランティア同士の交流を促す。
- ▶ 口頭発表とポスター発表による教室の活動紹介と交流会（各回3～4教室）
- ▶ 京都にほんごRings（18団体）と共催



取組内容 啓発・広報

▶ 「京都にほんご教室マップ」の作成・配布

▶ 府内23カ所の地域日本語 教室の情報を掲載

▶ 日本語、英語、中国語、 韓国・朝鮮語、フィリピン語の 5か国語表記

▶ 各教室の広報強化

▶ WEB版の公開

京都府北中部 North and Central Region of Kyoto

① 京丹後市国際交流協会 Kyoto City International Association
② 舞鶴市 かわめの学校 Maizuru Japanese School "Kamome's School"
③ 福知山市市民会館 Fushikyama Nihongo Koryukai
④ 綾部市市民ホール Ayabe Civic Hall
⑤ 京丹波町生涯学習センター Kyotamba Life-long Learning Center
⑥ 南丹市国際交流協会 Nantan International Association

**外国人住民のための
京都
にほんご教室マップ
Map of Japanese Classes in
Kyoto for International Residents**

日本語/English(英語) 中文(中国語)
한국어(韓国語) Filipino(フィリピン語)

KPIIC 公益財団法人 京都府国際センター
協力 公益財団法人 京都市国際交流協会
京都にほんご Rings

201.3.2

地球の日本語教室は主にボランティアによって運営されています。
日本語を学ぶことに加え、教室で行われる国際理解や交流活動を通じて、外国人住民が地球の一員として生活するためのサポートをしています。

連絡先 公益財団法人 京都府国際センター
住所 京都市下京区烏丸通堀小路下ル 京都駅ビル9階
Tel: 075-342-5000 Web: <http://www.kpic.or.jp/>

京都府北中部 ①～⑥
京都市内 ⑦～⑮
京都府南部 ⑯～⑳

成果と今後の取組

▶ 成果

- ▶ 日本語教室のネットワーク化を実現することにより教室間の情報共有や日本語教育体制整備についての検討の場ができた。
- ▶ 養成講座や研修会など人材育成により教室の新設やボランティアの質の向上が図れた。
- ▶ 日本語教室の設置によりカリキュラムや指導法など地域に向けて参考となる教室モデルを示すことができた。

▶ 今後の取組

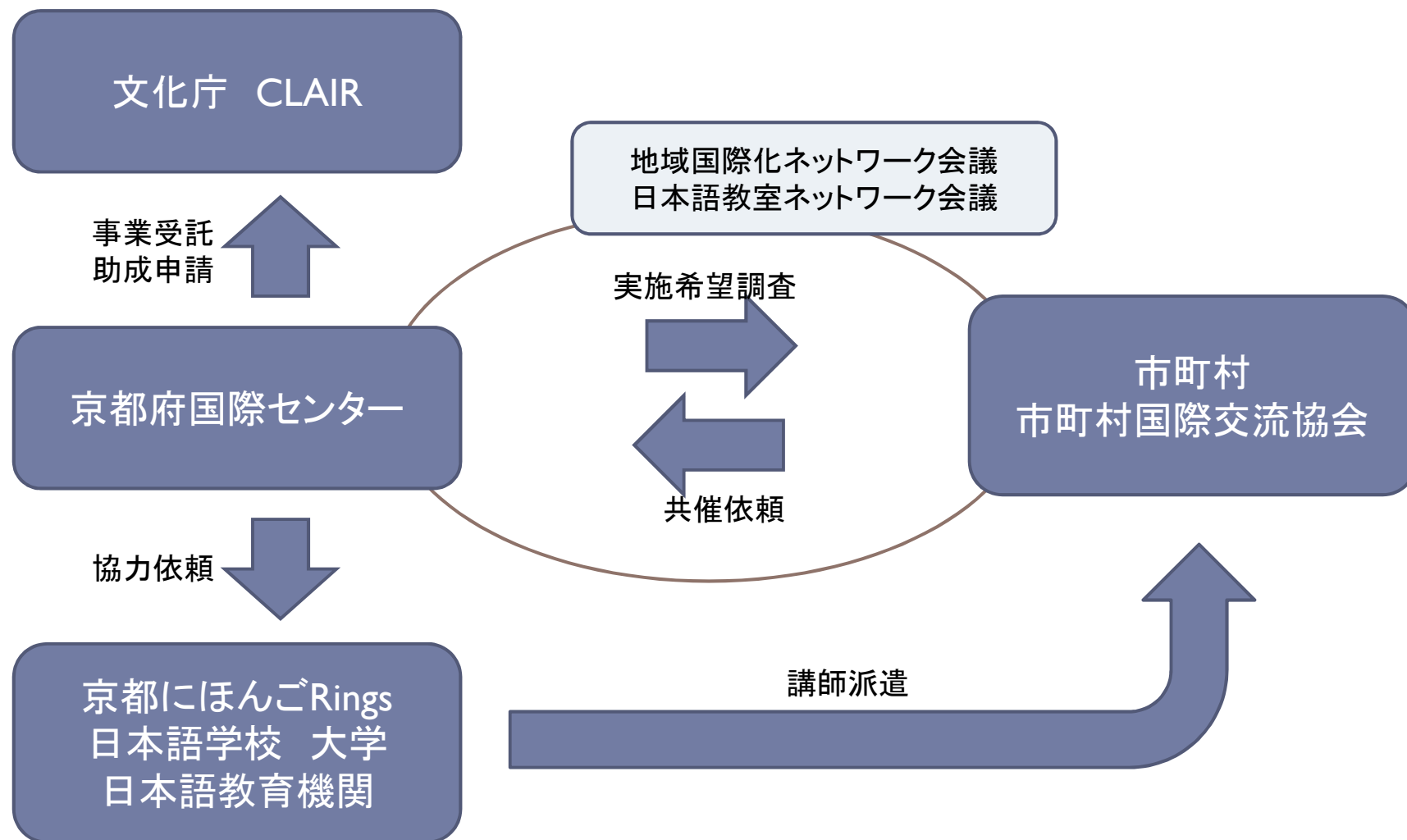
- ▶ 教室空白地の解消と教室存続への支援（行政機関との連携）
- ▶ 各教室において課題となっている初期指導の取り扱いへの対応
- ▶ 日本語教育の意義を周知し、その必要性について一般住民の理解を得る



取組の過程

年度 (生活者事業)	ネットワーク	研修	支援者養成 (教室立ち上げ)	モデル教室	その他
京都にほんごRings設立(H14) 情報共有・課題解決のための会合(年4回) ⇒ 検討課題 ・北部での研修 ・教室空白地でのボランティア養成					
H21		北部3市合同 研修(～H24)	養成講座 (京丹後市)		
H22					
H23 (養成・研修)			養成講座 (城陽市)		
H24 (A)	・北中部ネットワー ク会議 ・教室運営研修			・学習教材の 作成・公開 ・授業見学の 受入	府内教室マッ プ作成
H25 (B)		北中部・南部 研修	養成講座 (南丹市)		
H26 (B)		初期指導	養成講座 (亀岡市)		啓発・広報活 動

日本語教育事業の実施について





亀岡日本語教室の事例

亀岡国際交流協会 西岡正志

TEL: 0771-29-2700 Email: kikaku@galleria.city.kameoka.kyoto.jp

亀岡市の基本情報

- ▶ 京都市の西隣に位置する
 - ▶ 面積224.8km²(大阪市とほぼ同じ)
 - ▶ 京都市へは電車、車で約20分。
-
- ▶ 人口 91,188人(平成27年6月 亀岡市資料)
 - ▶ 京都市、宇治市に次いで府下で3番目に多い。
-
- ▶ 外国人住民数 797人(平成26年 京都府国際課資料)
 - ▶ 府下で6番目に多い。



亀岡国際交流協会

- ▶ 設立 1983年6月28日
- ▶ 目的 世界各国の人々との国際理解と親善を深め、世界の恒久平和に寄与する
- ▶ 会長 栗山正隆 亀岡市長
- ▶ 事務局 (公財)生涯学習かめおか財団
- ▶ 平成23年度までは(財)亀岡市交流活動センターが事務局。公益法人制度改革に伴う市内の外郭団体の整理、統廃合により解散。平成24年度は亀岡市が事務局。平成25年度から生涯学習かめおか財団が受け継いだ。
- ▶ 運営経費 会費、亀岡市補助金等



日本語教室開講まで（１）

- ▶ 平成25年まで、亀岡市には日本語教室がなかった。
- ▶ 在住外国人に関する情報は、統計人数、国籍別人数以外の詳しい情報がなく、日本語教室を必要としている人がどの程度存在するのか分からない状態。（これは現在も変わっていない）
- ▶ 京都府国際センターが開催する京都府北中部日本語教室ネットワーク会議や、京都にほんごRingsの会議等で、他地域の取り組みを知り、日本語教室の意義や必要性を理解。
- ▶ 平成25年度に隣の南丹市で日本語支援ボランティア養成講座が開催される。亀岡市からも数名参加。



日本語教室開講まで（２）

- ▶ 平成25年7月、市民サークルや個人で、国際交流、多文化共生活動をされている方に呼びかけ、日本語教室開講に向けての協議を開催。必要性について認識を共有。
- ▶ 自分たちで日本語教室をやっていききたいというボランティアが数名集まる。
- ▶ 南丹市での養成講座受講者、退職教員、国際交流活動を行う団体のメンバーが中心。（日本語教師有資格者3名）



日本語教室の開講

- ▶ 約2か月の間に協議を重ね、平成25年9月1日、日本語教室を開講。
- ▶ 学習者がどれだけ集まるか不明なまま、日本語の教え方なども手探りの部分も多く、試験的開講の色合いが強かった。
- ▶ 新聞で紹介されたことで広まった。他は知り合い等に個別に声をかけ、口コミで広がった。
- ▶ 開催当初は学習者8名、支援者12名。



開講当初の状況

- ▶ 当初は、国際交流協会内でも予算措置されておらず、学習者からの参加料(1回300円)で運営。教材・資料購入等に充てる。
- ▶ 会場は、生涯学習かめおか財団が管理する亀岡市の生涯学習センター「ギャラリーかめおか」を無料で使用。
- ▶ 多くの日本語教室が会場費の捻出に苦労している。亀岡市は生涯学習かめおか財団が生涯学習施設の指定管理者であり、国際交流協会の事務局であったため、この点は恵まれている。
- ▶ 支援者は無償(交通費も無し)



開講後の展開

- ▶ 平成26年度から、協会内に正式に日本語部会を設置し、予算を計上。(平成26年度予算 264千円)
- ▶ 支援者には少額ではあるが交通費を支払っている。(1人1回200円)
- ▶ 平成26年5月～7月、京都府国際センターが亀岡市で日本語支援ボランティア養成講座を開催。
- ▶ 46名が参加、終了後26名が日本語教室での活動を希望。
- ▶ (仕事や家庭の都合などで最終的には16名が活動)
- ▶ 日本語教室開講から半年が経過し、一定の形が整い、口コミで参加者が増えてきたタイミングであったことから、教室の充実に大きな効果があった。



教室の風景



他団体との連携

- ▶ 個別の市町村内での活動だけでは、他地域の情報が入ってこないため、必要なものが見えないことがある。
- ▶ 亀岡の日本語教室に関しても、近隣地域からの情報があつたことがきっかけとなった。
- ▶ 日本語教室が始まって、支援者のスキル向上のための研修や、最新情報の取得など多くの課題がある。
- ▶ 亀岡市では、近隣の南丹市、京丹波町の国際交流協会と日本語教室を中心に連携を強めており、研修や情報交換を行っている。
- ▶ また、各地域では教室の運営が精いっぱいという所も多く、国際センターのような中間支援を行う団体の存在は非常に大きい。

